

令和2（2020）年度 ウィークエンド青少年セミナー③ 実施報告

実施日：令和2年11月7日（土）

第3回は、栃木県立博物館の講堂と会議室にて行いました。第2回に引き続き、県立博物館で12月20日（日）に開催される県博デーで行う「とちっ子 あそび隊」のイベント企画・立案を中心に実施しました。

講話「栃木県立博物館の普及教育活動」

栃木県立博物館 管理部長補佐兼教育広報課長 柏村 勇二 氏

博物館の事業は博物館法に基づいて行われ、主に実物や標本などの博物館資料を収集し、展示することであるという説明がありました。普及教育の手段として「展示」「出版物」「講座」「体験学習」「学校教育」などがあり、お客様のニーズに合わせ様々な工夫を凝らした活動が展開されていることを知ることができました。イベントの企画・立案のアドバイスとして、「興味を引く企画名」、「対象を明確に」、「内容・手順は分かりやすく」、「短めの時間配分」などのポイントを教えていただきました。受講者は、博物館の工夫された実践から、自分たちがイベントを企画・立案する際のヒントを得ることができたようです。



演習「自分たちも何かやってみよう！企画・立案編Ⅱ」



前回に引き続き、12月の県博デーで行うイベントの企画内容について検討しました。前半の講話を参考に、人を引きつけるネーミング、活動の時間配分、新型コロナウイルス感染防止対策などを中心に話し合いました。博物館の職員の方にもアドバイスをいただきながら、グループ毎に安全面への配慮に関するルールを工夫したり、混雑時の対応について検討したりと、様々な角度からよりよいイベントを作り上げていくための協議がなされました。イベントで使うものを試作し、必要な材料についても、素材や分量など細かいところまで検討していました。演習の最後には、グループ毎に企画の概要について発表しました。若者の豊かな発想から生み出された、とても楽しみな4つの企画ができあがりました。

受講者の感想より

- 博物館が、子どもたちに多くのことを学んでもらうために様々な工夫をしていることを知りました。
- 意外と魅力的なネーミングをすることは難しいと知りました。
- 博物館のスタッフの方は、ニーズや季節など様々なことを考えて企画していることが分かりました。
- 博物館では、栃木県について知ってもらうために様々なイベントを行っていたことを知りました。
- 私も幼いときに博物館のイベントに参加して貴重な経験ができたことを思い出し、博物館の存在意義を再確認できました。
- 博物館には想像よりもはるかに多くのイベントがあることに驚きました。

研修内容の詳細に関するお問い合わせは、栃木県総合教育センター生涯学習部まで
TEL:028-665-7206 e-mail: skc-syougai@pref.tochigi.lg.jp